

合板製造業におけるその他の木材加工用機械を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	8～9	ドライヤーアンローダーから方転コンベアに向かうところにあるロールの交換作業をしていた。ロール両端のボルトをはずして交換しようとした際、ロールが転がり落ちて、左手の薬指を挟んだ。	30～299	100～299
4	18～19	工場構内に於いてチップ室の掃除中、剥芯チップの入口を横になった剥芯が塞いで挿入口コンベアに剥芯が溜まっていることに気付いたので挿入コンベアを停止してチップの入口を塞いでいる剥芯を手で取り除こうとしたが、掴んだ剥芯が回転したままだったチップに触れたため弾かれて右手をガイドに強く打ち付け被災した。	41～299	100～299
6	11～12	ベニアレース（原木を大根のカツラ剥きの様に薄く切削する機械）のナイフ（刃渡り約220cm、重さ約60kg）を交換する為、移動台車にナイフを載せて反転させた時に、台車の溝に上手く入らず、治具を使用して直す際に足を滑らせ、左手がナイフカバーに接触し、カバーが外れて刃先に左腕（手首下）が当たり切れた。	38～299	100～299
7	14～15	工場内において、ダボ打ち機を使い、木材（10cm四方）の加工中、同材に左手を添えて木材を押さえるためワークボタンを押したとき、下降してきたクランプと木材の間に誤って左示指を挟んでしまい負傷した。	34～29	10～29
10	15～16	工場内で、電動ドリルで、木材に穴を開けていた時ドリルの刃が木材の硬い所（節）にかんでしまい、ドリルの回転が止まったと同時に電動ドリル本体が回転し、支えていた右手首を捻り骨折負傷した。	69～49	30～49

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html